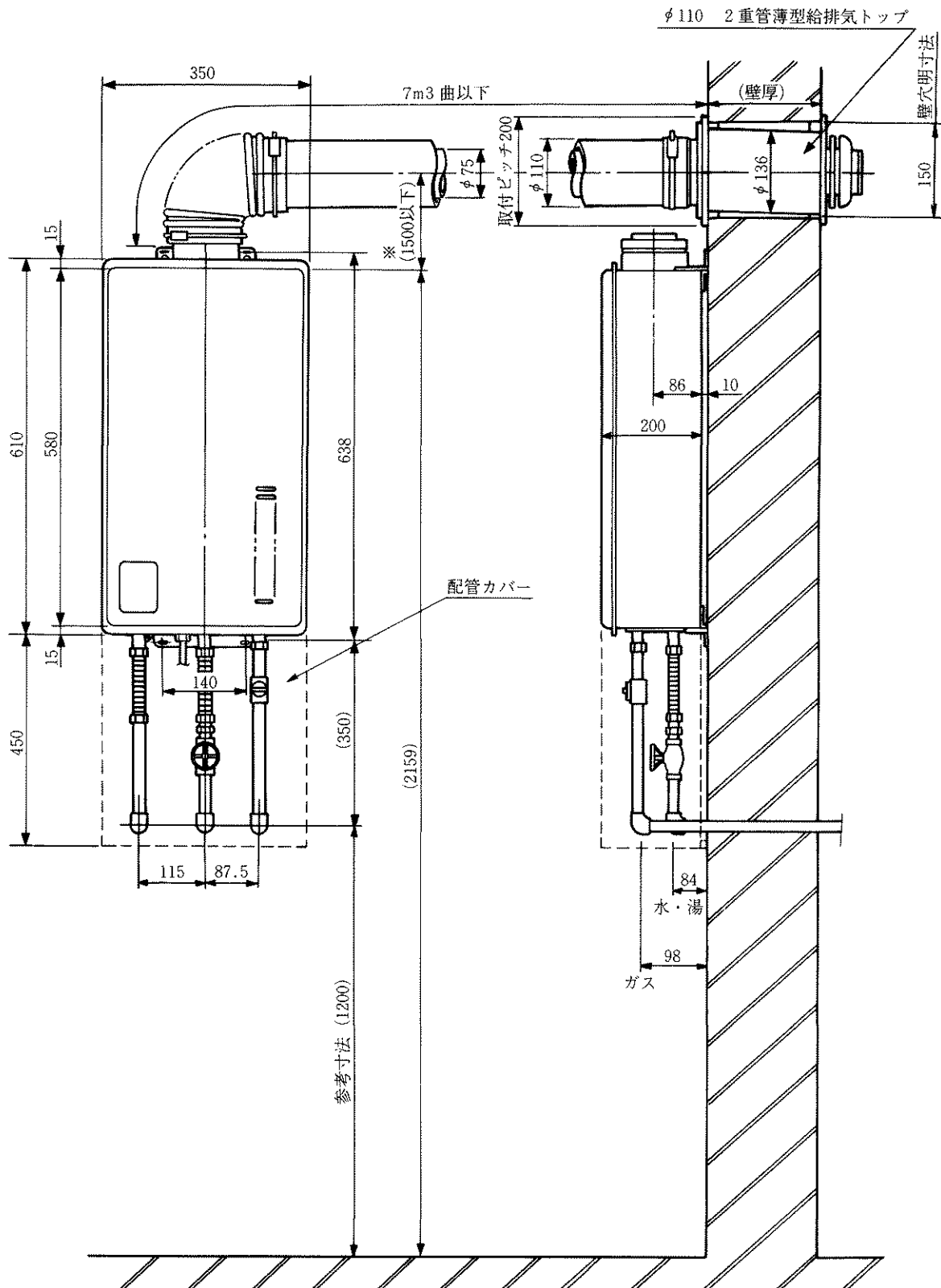


§10 設置方法

1. 屋内壁掛設置図

(1) 排気延長

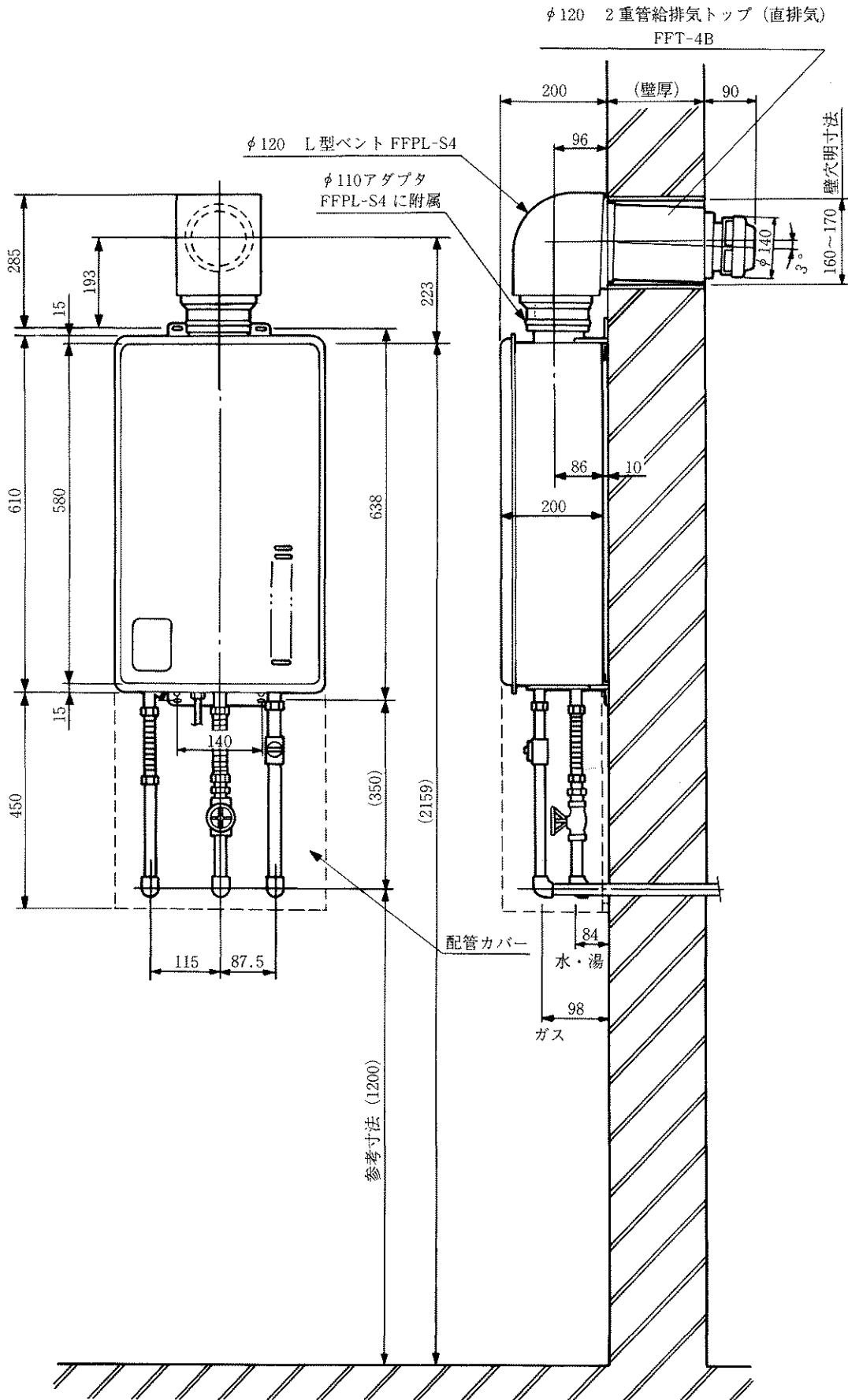
(単位：mm)



上記※印給排気筒の垂直立ち上げ距離は、結露水が器具内部へ浸入しますので1500mm以下にしてください。

(2) 後方直排

(単位: mm)



Rinnai® 設置工事説明書

ガス瞬間給湯器

RUX-2016FFU, RUX-2016FFU-E
RUX-2006FFU, RUX-2006FFU-E
RUX-2016FFUX, RUX-2016FFUX-E
RUX-2006FFUX, RUX-2006FFUX-E
RUX-2016FFUX(G), RUX-2016FFUX(G)-E
RUX-2006FFUX(G), RUX-2006FFUX(G)-E
RUX-1616FFU, RUX-1616FFU-E
RUX-1606FFU, RUX-1606FFU-E
RUX-1616FFUX, RUX-1616FFUX-E
RUX-1606FFUX, RUX-1606FFUX-E
RUX-1616FFUX(G), RUX-1616FFUX(G)-E
RUX-1606FFUX(G), RUX-1606FFUX(G)-E

■工事される方へお願い

- この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。本書の設置条件をはずれた設置が原因で生じた故障などは、保証期間内であっても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)も併せてお読みください。
- 工事終了後にお客様に使用方法、保証の内容をよく説明のうえ、取扱説明書(保証書付)、設置工事説明書をわたしてください。
- 設置工事・給排水工事および変更の工事は特定ガス消費機器設置工事監督者の監督のもとに行い、工事終了後は特定ガス消費機器の監督に関する法律施行令第6条に規定された内容を表示したステッカー(表示ラベル)を機器と給排水管に張ってください。



【後面近接設置図形】

- | | | |
|----------|------------|----------------|
| ■安全上のご注意 | ■機器の設置 | ■別売シャワーリモコンの接続 |
| ■設置場所の確認 | ■給水・給湯配管工事 | ■設置工事後の確認 |
| ■付属品の確認 | ■ガス配管工事 | ■試運転および試点火について |
| ■別売部品 | ■電気工事 | |

■安全上のご注意

この機器を安全に設置・使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示を無視して、作業を行った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が生じていることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、作業を行った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、作業を行った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

給表示については次のような意味があります。

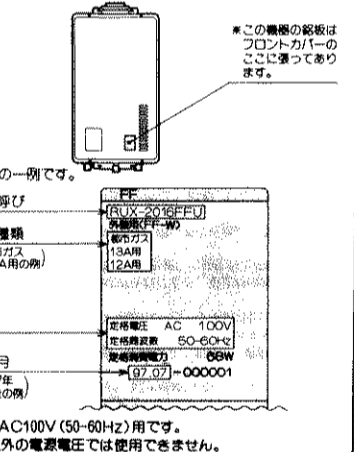
- 一般的な禁止
- 電源プラグをコンセントから抜く
- 必ずアース線を接続せよ

△危険

- この機器は屋内用です。屋外に設置しないでください。機器に雨水が浸入したり、風で炎が吹かれて火災の原因となります。ただし、設置場所の確認に記載されている条件を満たしている場合は、パイプシャフト内に設置することができます。
- 浴室には絶対に設置しないでください。一酸化炭素中毒・感電事故や故障の原因となります。

△警告

- 機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い求めの販売店または当社の支店・営業所・出張所に依頼し、有資格者による正しい工事が行われるようにしてください。
- 設置工事・給排水工事および変更の工事は特定ガス消費機器設置工事監督者の監督のもとに行い、工事終了後は特定ガス消費機器の監督に関する法律施行令第6条に規定された内容を表示したステッカー(表示ラベル)を機器と給排水管に張ってください。
- 機器の設置場所が設置場所の確認の項の条件を満たしていることを確かめてください。
- 火災や不完全燃焼を防止するため、設置場所の決定に際しては、下記のごとくに留意してください。
 - 機器や給排水管と周囲の可燃物との距離が右図の条件を満たすこと。
 - 給排水管は右図の範囲内に、燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部がないこと。(排気出口から60cm以上離れた部分は除く)
 - 給排水管は給気・排気が十分にできる場所(開放スペース)に設置すること。壁などに囲まれた場所には設置しないでください。
 - 機器や給排水管の周辺でガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 必ず接地工事(アース)を行ってください。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しないでください。接地工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 設置する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電圧(AC100V・50-60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。
- 設置した機器が使用するガスと不完全燃焼や燃焼点火の原因となります。



△注意

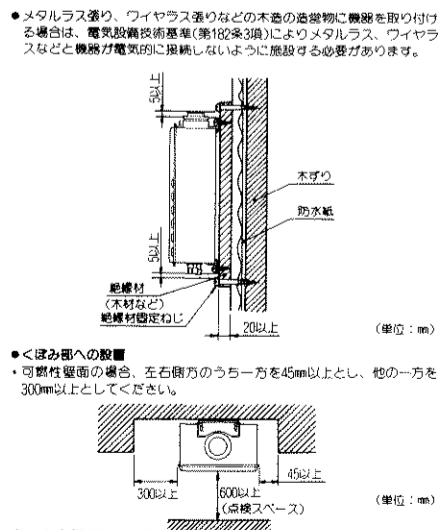
- 給水配管(できるだけ機器の近く)には、必ず給水栓・止水弁を取り付けてください。機器の点検ができなくなったり、振動の原因となります。
- 機器と止水弁との間の給水配管および給湯配管には絶対に樹脂管を使用しないでください。水漏れの原因となります。
- 車両・船舶への設置はしないでください。故障の原因となるだけでなく、思わぬ事故を招くおそれがあります。
- 機器の点検・修理作業の際に危険を伴う場所(高所など)や機器の正面で作業ができない場所へは設置しないでください。

■設置場所の確認

- 機器は安全に正しく設置してください。
- 設置場所をお決めになるとき、次の事項をよく読んでください。
 - この機器は屋内設置専用です。屋外(一部地域のパイプシャフト内を除く)には絶対に使用しないでください。
 - 浴室には絶対に設置しないでください。
 - 近隣の家に騒音で迷惑にならない場所に設置してください。
 - 建物の設計段階から設置方法ならびに配管・配線工事方法に關し、十分打ち合わせをしておいてください。
 - 地域によってはパイプシャフト内に機器を設置することが認められている地区もありますが、パイプシャフト様式や換気口の大きさなどについては「ガス機器の設置基準及び実務指針」の他に、各地消防署などの規制に従って正しく設置してください。
 - この機器はφ110、2重給排水管(排気管径φ75)で7m3曲りまで延長可能です。
 - この機器は後面排気管にすることもできます。別売のφ120、2重管専用給排水管セット(FFT-4B)とL型バンド(FFPL-S4)が必要です。

1. 火災予防について

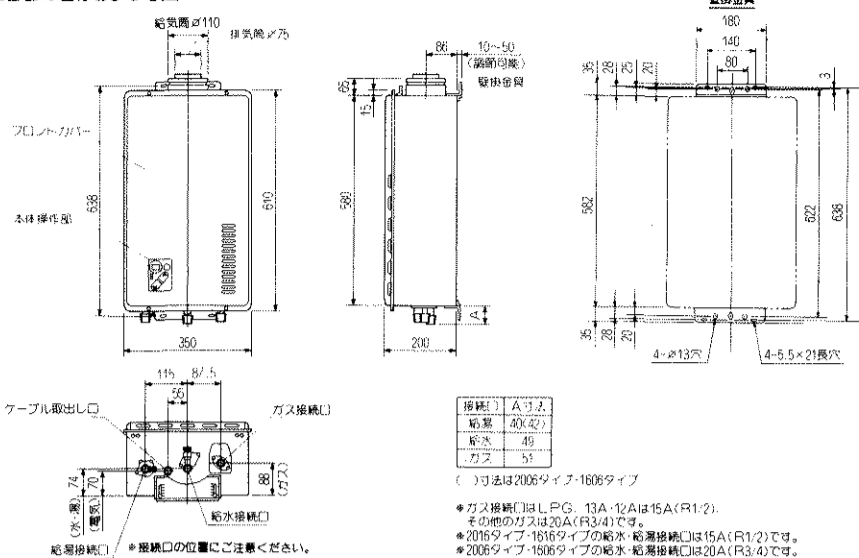
- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火安全なものであるが、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してください。



2. 給排水について

- 給排水管を延長する場合
 - ・防火区画の貫通をさせて給排水管の径を決定してください。
 - ・防火ダンパは絶対に設置しないでください。
 - ・給排水管は必ず屋外へ通じるよう設置してください。
 - ・機器を設置する場所から給排水管までは所定の延長距離内にあることを確認してください。

■各部の名称および寸法(単位:mm)



3. 設置場所のふん囲気について

- アンモニア、塩素、硫黄、酸類など腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。
- 熱交換のつまりなどにより不完全燃焼の原因となります。
- 換気扇、レンジフードなどからの風が機器の給排気に影響を与える場所への設置はしないでください。
- ガスターブル・ガスコンロなど燃焼機器の上には設置しないでください。変形したり、性能が悪くなったり、電子部品がこわれやすくなります。また、蒸気、水しぶき、水滴、直射日光のある場所には、設置しないでください。

4. 保守・点検のためのスペース

- 機器点検、修理ができるよう十分なスペースを確保してください。
- 機器前方は600mm以上の空間を設けてください。

5. 機器の設置条件

■屋内壁掛設置の場合

- ガスメータや電気設備の近くには取り付けしないでください。
- 人の出入りの多い場所への設置はしないでください。
- 階段・遊歩口近くへの設置はしないでください。
- コンセントに接地端子が付いていない場合は、第3種接地工事を行ってください。
- コンセントは、機器の後ろにならない位置に取り付けてください。
- コンセントとガス管および水道管とは100mm以上離してください。
- 機器の水抜き栓からの水が直接コンセントにあたる位置にしてください。

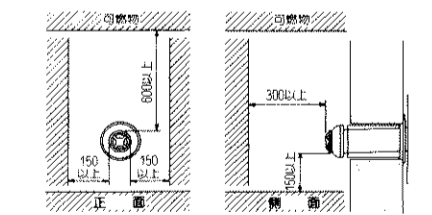
■パイプシャフト内に設置する場合

- 前記除下などの条件を満たすことが必要です。
- 集合住宅の共用廊下に設置する場合は1200mm以上の避難通路を確保してください。また、排気口の下部は床面より1800mm以上とってください。
- 階段室への設置はできません。
- パイプシャフト内に電線配線、リモコン配線を行う場合は防塵工事を行ってください。(電線設備に関する技術基準を定める省令(昭和44年通産省第81号)第20条の基準に準ずる)
- パイプシャフト内に設置する場合は、ケーブル工事をしてください。電源ケーブルはパイプシャフト用の電源ケーブルを使用してください。
- ケーブル配線は可とう電線等で保護してください。機器から壁裏まで可とう電線等で保護してください。
- パイプシャフト内では電線ケーブルおよび電線管を切断接続しないでください。
- パイプシャフト内および内壁には、配線用ボックスを使用しないでください。ただし、防塵構造を施したものは、この限りではありません。
- 電線がパイプシャフト内壁面に貫通する部分は、コーキング材によりシールし、パイプシャフトの外の気流が保たれる措置をしてください。
- 分電盤に接地端子がない場合は、第3種接地工事を行ってください。
- リモコン側のスイッチボックスはJIS C 8336の1用型のスイッチボックス(カバーなし)を使用してください。
- ガス配管とケーブルとは接触しないようしてください。
- パイプシャフトの前面扉などの上部および下部に各φ100mm(内径)以上は500mm²または前面積の5%の大きい方以上の換気口を設けてください。

6. 給排水管の設置基準

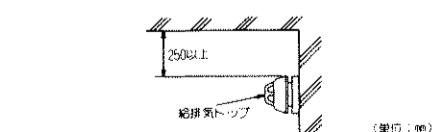
- 給排水管は必ず屋外に出るように取り付けしてください。
- 給排水管は1/50程度の先下り勾配に取り付けてください。
- 給排水管は先述の注意ラベルの表示に従って取り付けしてください。
- 給排水管が予想される場合、給排水管の周囲の構造や設置に留意されるように施工方法を考慮してください。
- 給排水管の先端から水蒸気(煙のようなもの)や水漏れがすることがあります。給排水管の位置は水蒸気の見えない場所や、水漏れ下による床ぬれ、飛塵による支障のない場所を選んで設置してください。

●給排水管と可燃物との距離(FFT-4Bの場合)



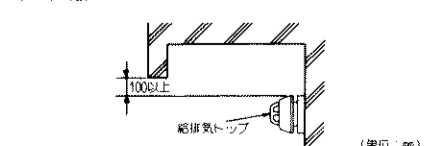
- TFW-110×75Cの場合は、給排水管の工事説明書を参照してください。
- 前記に定める距離を壁面に投影した範囲内(給排水管開口部から600mm以上離れた部分を除く)に、燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部がないことを条件とします。

●上方の軒または突出物との距離



●可燃物などの場合は、給排水管と可燃物との距離に必ず従ってください。

●軒の裏に突出物に下り壁がある場合

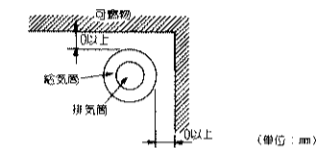


7. 給排水管の延長時の設置基準

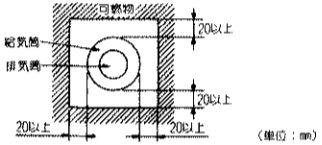
- 機器の取り替えや給排水管の位置を変更する場合は、下記①～③の場合を除いて給排水管を新しいものに交換してください。
- ① 給排水管の材料がSUS304、または同等の耐食性を有するもの。
- ② 機器を取り替える場合で、給排水管が機器使用開始後1年を超えないもの。
- ③ 機器と給排水管の位置を同時に変更する場合で、給排水管の使用年数が機器の使用年数に1年を加えた年数を超えないもの。
- 給排水管は給排水管トップに向って下り勾配になるように施工してください。また、給排水管の垂直立ち上げ距離は1.5m以下にしてください。
- 給排水管と可燃物との距離(FFT)

①開放空間への設置

- 新築工事は特に必要ありません。



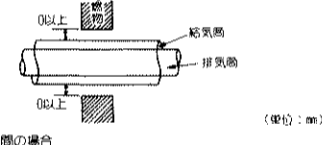
②壁べり面への設置



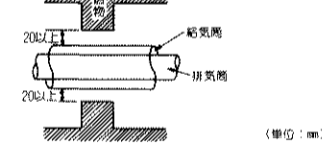
- 壁べり部分に給排水管を設置する場合は、接続部を排気漏れのない構造とし壁面に接続してください。
- ロック機構の付いていない給排水管の接続部は、必ずねじ止めを行い、耐熱シール材などでシールしてください。
- 壁べり面にある給排水管の点検修理のため、必ず点検口を設けてください。

③壁の貫通部

1) 開放空間の場合



2) 壁べり空間の場合



■付属品の確認

梱包内には下記の付属品が入っております。取り付けの前にご確認ください。

品番	品名	数量	備考
1	木ねじセット	1	φ木ねじ4.8×4.32×5本 オールブラブ×5本
2	操作部カバー	1	本体操作部設置工事説明書付
3	排水チューブ	1	止水弁に接続
4	取扱説明書	1	保証書付
5	設置工事説明書	1	本書
6	リンナイ連絡先一覧表	1	

■別売部品

●別売部品は、機器の必要に応じて別途お買い求めください。

品名	型	式
シャワーリモコン	BC-45-1	
2重ケーブル (本体操作部用)	UC-25-00 UC-27-00	
コネクタ付2重ケーブル (シャワーリモコン用)	UC-25C-00 UC-27C-00	
コネクタセット	UX-25-C (UC-25-50, UC-27-50ケーブルをシャワーリモコン用に改造する場合に使用)	
リモコン 壁取付タイプ	RF-2001 (標準品はシャワー) RF-2002 (リモコンに付属)	
壁掛用強化板	UX-0022	
配管カバー	UX-P101	

給排水延長材

品名	型	式
φ110、2重給排水管延長材	FFWP-300, 600, 900	
φ110、2重給排水スライド継	FFWS-210, 350	
φ110、2重給排水90°エルボ	FFWL-90	
φ110、2重給排水90°エルボ	FFWL-45	

給排水延長材

品名	型	式
φ110、2重給排水延長材	FFWP-300, 600, 900	
φ110、2重給排水スライド継	FFWS-210, 350	
φ110、2重給排水90°エルボ	FFWL-90	
φ110、2重給排水90°エルボ	FFWL-45	

5 機器の設置

- 給湯器の設置については、火災予防条例などに基準が示されていますので、各都道府県市町村の条例に基づいて行ってください。
- 給湯器を正しく設置しないと機器の性能が十分発揮できないだけでなく、思わぬトラブルの原因ともなりますのでこの説明書に示す要領によるほか「ガス機器の設置基準及び実務指針」に従って正しく行ってください。
- 設置工事、給排気工事および変更の工事は特定ガス消費機器設置工事監督者の監督のもとに行い、工事後は特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律施行を基に規定された内容を表示したステッカー（表示ラベル）を機器と給排気管に貼ってください。

■設置方式によって給排気トップおよび機器の設置工事手順が異なりますので注意してください。

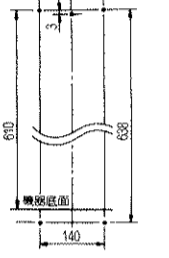
設置方式	給排気トップ型式
給排気延長する場合	TFW-110×75C
直排する場合	FFFT-4B(FFPL-S4が必要)

- 給排気トップは壁面に固定してください。壁面には十分な強度がない場合は補強工事をしてください。
- 必ず垂直な壁に取り付けてください。
- 給排気トップに付属の取付説明書に従って、給排気トップを壁面に取付けてください。
- 機器の中心線上、機器底面より60mmの位置に木ねじを3本打込んでください。
- 機器の縦向き（上）の中央の切欠部を木ねじに引掛けてください。
- 壁面からの距離は10～50mmの範囲で調節できます。
- 取り付ける壁面がコンクリート、コンクリートブロックの場合は下図5箇所の下穴をあけ、オールブラッグを打ち込んだ後、①、②の手順に従い、取付けてください。

■工事手順

給排気延長する場合

- ① 設置する壁には約20kgの重量が加わりますので十分な強度がない場合は補強工事をしてください。
- ② 必ず垂直な壁に取り付けてください。
- (1) 給排気トップに付属の取付説明書に従って、給排気トップを壁面に取付けてください。
- (2) 機器を壁面に設置してください。
- 機器の中心線上、機器底面より60mmの位置に木ねじを3本打込んでください。
- 機器の縦向き（上）の中央の切欠部を木ねじに引掛けてください。
- 壁面からの距離は10～50mmの範囲で調節できます。
- 取り付ける壁面がコンクリート、コンクリートブロックの場合は下図5箇所の下穴をあけ、オールブラッグを打ち込んだ後、①、②の手順に従い、取付けてください。



※オールブラッグの下穴径はφ7、深さ30～35mmとしてください。

- ③ 機器と給排気トップを接続してください。
- 2重給排気筒（900、600、300）、90°エルボ、45°エルボなどを組み合わせて、給排気トップ側から順次接続してください。
- ストップアングルが付いていない給排気筒などを使用する場合は、タップナゲジを使用して取り付けを行い、さらにアルミテープでシールしてください。
- 給排気筒は壁外に向かって1/100～1/50程度の先下り配をつけてください。
- 給排気筒の最後の接続はスライド蓋で行ってください。
- ④ 給排気筒の延長距離とエルボの使用回数で次式に従い、D値を算出してください。

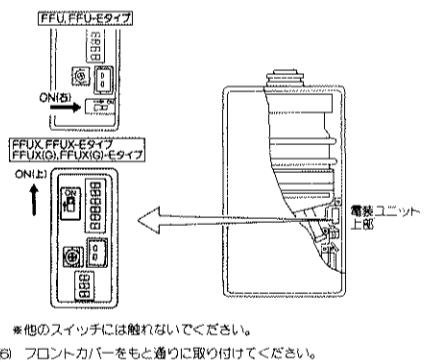
$$D = \square + \mathbb{M} \times 2$$

□：延長筒の長さ(m)
 M：エルボの径数(個)
 (エルボ45°を使用する場合は D = □ + M × 0.5)

Dが13より大きい場合、この機器は使用できません。

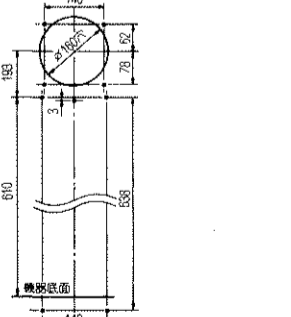
- 右表の斜線(//)に示される給排気筒の組合せは、フロントカバーを取りはずし(ねじ4本)、電装ユニット上部にある電装切替スイッチ(下図参照)をONにしてください。

長さ	1曲	2曲	3曲
1m			
2m			
3m			
4m			
5m			
6m			
7m			



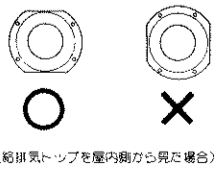
直排する場合

- 設置する壁には約20kgの重量が加わりますので十分な強度がない場合は補強工事をしてください。
- 必ず垂直な壁に取り付けてください。
- 給排気トップFFFT-4BとL型バンドFFPL-S4が必要です。
- (1) 壁面にFFFT-4B取付け用の穴(φ160)をあけます。また、壁面がコンクリート、コンクリートブロックの場合は、下図5箇所の下穴をあけ、オールブラッグを打ち込んでおきます。



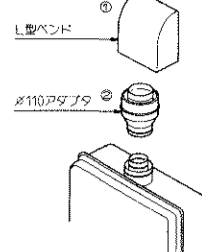
※オールブラッグの下穴径はφ7、深さ30～35mmとしてください。

- ② FFFT-4Bに付属の取付説明書に従って、FFFT-4Bを壁面に固定してください。(ねじ4本)
- (注) 給排気トップは上下を正しく挿入してください。

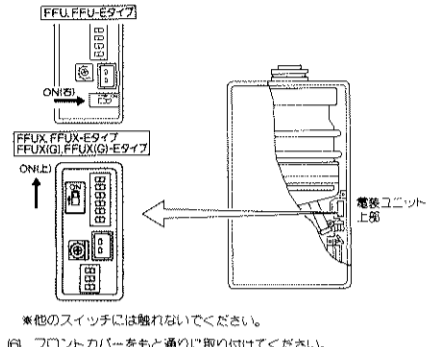


(給排気トップを屋内側から見た場合)

- ③ 付属の木ねじ(5本)で機器を壁面に固定してください。
- ④ FFPL-S4の取付説明書に従って、FFPL-S4を取り付けてください。



- ⑤ フロントカバーを取りはずし(ねじ4本)、電装ユニット上部にある電装切替スイッチ(下図参照)をONにしてください。



6 給水・給湯配管工事

配管工事は、給水事業者の指定工事店に依頼し、給水事業者の規定に従ってください。水源に市水道を使用する場合は、各市町村水道局の条例に基づき施工してください。

■配管上のご注意

- 1816・2016タイプの配管径は15A(R1/2)になっています。配管径は給水・給湯とも15Aで配管してください。
- 1806・2006タイプの配管径は20A(R3/4)になっています。配管径は給水・給湯とも20Aで配管してください。
- 保守・点検および水抜きのため、給水接続口の近くに給水元栓を設けてください。
- 給水配管と機器を接続する前に、給水元栓を開いて、給水配管内のゴミ、砂を洗い出してください。そして接続後、透水テストを必ず行い、給水元栓を開けてから給水接続口内部のストレーナを取り出し、ストレーナを掃除してください。
- 機器の給水接続口の近くに逆止弁を設けるが、逆止弁付きの給水元栓を必ず取付けてください。また、給水接続口と逆止弁との間の配管には、樹脂管を絶対使用しないでください。
- 給湯配管は金属製の管(銅管など)を使用してください。樹脂管は使用しないでください。
- 銅管を使用する場合は、必ずロー付けに接続してください。
- フレキシブルチューブをお使いになるときに、地域の水道条例によって規制されている場合がありますのでご注意ください。
- フレキシブルチューブが使用できないときは、必ずユニオン継手を使用し給水・給湯配管には水抜き用の排水性を設けてください。
- 給水・給湯配管(フレキシブルチューブを含む)はすべて保護してください。
- 継手類はできるだけ少なくし、複雑な配管はさけてください。
- 配管途中に空気漏りのできるような配管はさけてください。
- 配管材料は必ず関係水道局の承認または検査に合格したものを使用してください。

■給水配管

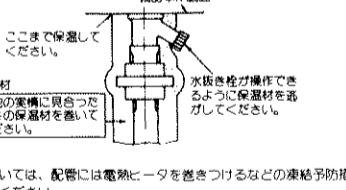
- この機器のターナに点火するためには給水圧が「最低動作水圧」以上必要です。最低動作水圧は10kPa(約0.1kg/cm²)です。
- この機器をお客様に快適に使っていただくには、給水圧力が98.1～491kPa(1～5kg/cm²)が必要です。特に水圧が低い場合は、機器の能力が十分に発揮されず、お客様とのトラブルの原因にもなりますので、加圧ポンプを設置するなどの対策を講じてください。
- 給水圧が高い場合は、減圧弁を取り付けるガウオーターハンマー防止措置を行ってください。

■給湯配管

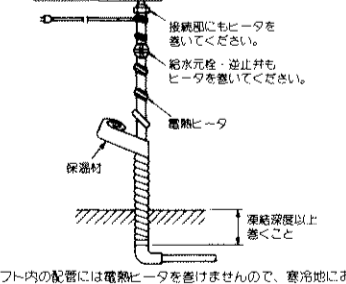
- 混合水栓は湯水抵抗の少ない機器を選んでください。また、シャワーヘッドは湯力、機器給湯用の湯力損失の少ないものを使用してください。
- 配管はできるだけ給湯管と同じ高さで行ってください。階上に配管する場合は、必ず給水圧力が確保になります。(1mにつき9.81kPa(0.1kg/cm²)ずつ余裕に必要になります)
- できるだけ短距離に配管してください。給湯配管が長くなれば、それだけお湯の出始めが温かくなり燃料のムダにもなり、使用上不便を感ずります。
- 2箇所以上で同時にお湯を使用するときは、給湯配管の方法、給湯性の開き具合によってそれぞれの給湯器からお湯の量が異なることがあります。特に給湯器から遠い場所、高い位置の給湯器ではお湯の出ない場合もありますので、十分ご検討のうえ設置してください。

■凍結予防

- 給水・給湯配管からの水漏れがないことを確認したのち、配管を完全に保護してください。
- 配管内の水抜きが容易できるように保護材を巻いてください。
- 水抜き栓を保護材で包み込んでください。



●寒冷地においては、配管には電熱ヒータを巻きつけるなどの凍結予防措置を行ってください。



7 ガス配管工事

1) ガス栓

- 機器を使用する場所がガス栓がない場合、あるいはあっても位置や寸法などが適切でない場合は、新設、移設、または交換が必要ですので、ガス事業者にご相談ください。
- 専用のガス栓を設けてください。

2) ガス接続

- この機器のガス接続口はLPG、13A-12Aは15A(R1/2)、その他のガスは20A(R3/4)になっています。
- ガス栓と給湯器の間には必ずユニオン継手を取り付けてください。
- この機器は金属管接続ですので、ゴム管接続はできません。
- 金属管接続はガス事業者の指定する工事店に依頼してください。
- 給湯器は多量のガスを短期間に燃焼しますから、ガス量が多分供給されるようにご検討ください。
- LPGガスをご使用の場合、LPGガス容量は50kgを併用してください。また、機器からは2m以上離して設置してください。
- 都市ガスの場合は、ガス流量が多いので、配管途中の圧力損失が大きくなりやすいため十分余裕のある配管にしてください。

8 電気工事

- この機器にはAC100V電源が必要です。電気配線については電力会社の指定工事店に依頼してください。
- 電源ケーブルが余る場合は機器の外に処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)

■漏電しや断器の設置について

電気設備に関する技術基準(第1条)により、漏電したとき自動的に電路を断る装置(漏電遮断器)を電器類に付けてください。*

1. 屋内壁掛設置の場合

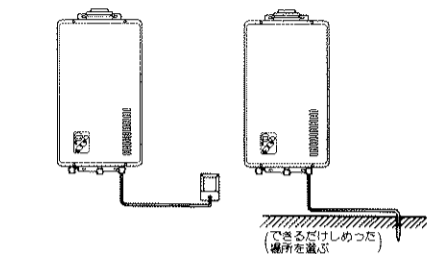
■電源用コンセントについて

- 機器を設置する場所に電源コンセントがない場合、あるいは、あっても適切でない場合には、新設あるいは移設、交換が必要ですが、なお、電源ケーブルの長さは2mです。
- 機器の電気関係の仕様(電圧・消費電力)を確認してください。
- 電源コンセントは機器の後ならぬ位置にしてください。

■接地工事について

- 電気設備に関する技術基準(第28条)による第3種接地工事を行ってください。(接地抵抗100Ω以下)
- 機器底面にアースの文字で接地端子部を表示してあります。

- コンセントにアース端子が付いている場合
- アース棒を使用する場合



■工事手順

- (1) 機器底面の「アース」の文字が表示されたねじにアース線を接続してください。
- (2) コンセントの接地端子にアース線を接続してください。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- *アース線は金属体断面面積2mm²以上の設置線径を使用してください。

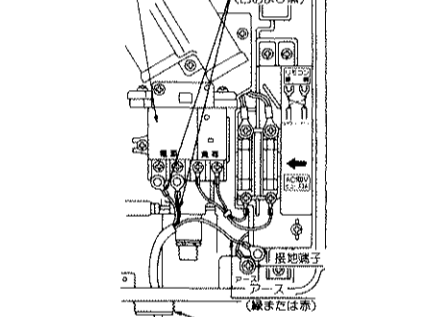
2. パイプシャフト内に設置する場合

■工事手順

- (1) 機器本体のフロントカバーを取りはずしてください。
- (2) 機器の電源ケーブルを取りはずしてください。
- (3) 機器本体底面のケーブル接続口から電源ケーブルを引き込んでください。
- *電源ケーブルは下記を使用してください。

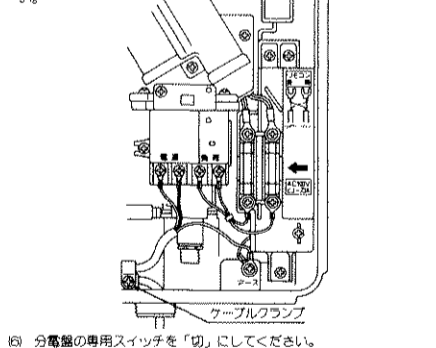
100V電源ケーブル(パイプシャフト用)	ビニールキャップ VCTケーブル 公称断面積2mm ² ×3芯
----------------------	--

- (4) 電源ケーブルの黒・白線を機器電源用として、機器本体の高電圧安全接線の電源端子に接続し、他の色(緑または赤)をアース用として、本体内の接地端子にそれぞれ接続してください。



■電源ケーブルの接続

- 接地端子にはあらかじめ電装ユニットのアース線が接続されていますので、電源ケーブルのアースを接続するときは必ず2本のアース線を一緒に固定してください。電装ユニットのアース線を接続し忘れると、機器が正常に動作しません。
- 電源ケーブルを下図のように余裕をもたせ、ケーブルクランプで固定してください。
- *ケーブルクランプは電源ケーブルを固定しているものを使用してください。



- ⑤ 分電盤の専用スイッチを「切」にしてください。
- 分電盤は専用回路としてください。
- ⑦ 分電盤の電源端子に電源ケーブルの白線および黒線を、アース端子に他の色(緑または赤)の線を接続してください。
- (注) 分電盤アース端子の接地抵抗(100Ω以下)を確認してください。
- ⑧ フロントカバーをもと通りに取り付けてください。
- ⑨ 分電盤の専用スイッチを「入」にしてください。

■本体操作部について

- この機器の本体操作部は、取りはずしメインリモコンとして壁面に取付けることができます。
- パイプシャフト内に機器を設置する場合は、本体操作部を必ず室内へ移動してお使いください。
- 本体操作部と別売のシャワーリモコンの両方設置が可能です。
- 本体操作部と別売のメインリモコンの両方設置はできません。
- *本体操作部の移設については、同様の「本体操作部設置工事説明書」をお読みください。

9 別売シャワーリモコンの接続

- この機器には別売のシャワーリモコン(BC-45-1)が増設できます。
- パイプシャフト内に機器を設置する場合は、2芯ケーブルは別売のUC-27-00、UC-27C-00を使用してください。
- 機器本体からリモコンまでの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事施工してください。
- 2芯ケーブルが余る場合は機器の外に処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)

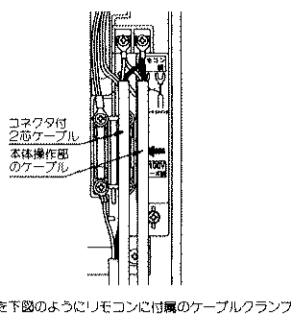
■リモコンの取り付け

- リモコンに同梱されている「リモコン設置工事説明書」を参照し正しく取り付けください。

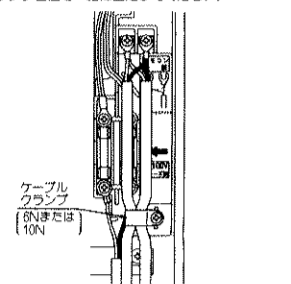
■機器との接続

- 電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)
- 電源を入れたままケーブル工事をするとは危険が顕著なことがあります。
- (1) 機器本体のフロントカバーを取りはずしてください。
- (2) 機器本体底面のケーブル接続口からコネクタ付2芯ケーブルを引き込んでください。

- ③ 電装ユニットの2P端子にコネクタ付2芯ケーブルを本体操作部のケーブルとダブルで接続してください。(⑧、⑨の極性はありません)



- ④ 2芯ケーブルを下図のようにリモコンに付属のケーブルクランプで固定してください。(ねじは本体操作部のケーブルを固定しているものを使ってケーブルクランプ2個を一緒に固定してください)



- ⑤ フロントカバーをもと通りに取り付けてください。

10 設置工事後の確認

設置工事が終わりましたら、もう一度機器まわりの工事について点検してください。

■機器の設置状態

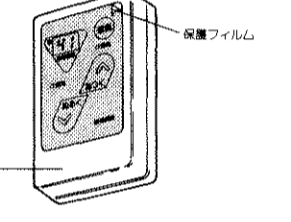
- 可燃物および可燃性気体との距離は確保されていますか。
- 日常の使用および点検に支障をきたしませんか。

■給水・給湯・ガス配管

- 配管接続部から水・ガス漏れはありませんか。
- 給水圧力は十分ありますか。
- ガス圧力は適正ですか。

■本体操作部の保護フィルムの取りはずし

- 工事終了後は本体操作部のスイッチに貼ってある透明の保護フィルムはがしておいてください。
- (1) 機器のフロントカバーを取りはずしてください。(ねじ4本)
- (2) 本体操作部のスイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



- ⑤ フロントカバーをもと通りに取り付けてください。

11 試運転および試点火について

- 取扱説明書の内容に基づき、試点火を行い、正常に動作することを確認してください。
- ガス配管中に空気が溜まっている場合は点火しないことがあります。その場合は、下記の順序に従って実施してください。

- (1) 本体操作部の運転スイッチを「入」にしてください。
- (2) 給湯栓(混合水栓のお湯栓)を全開にしてください。
- (3) 本体操作部の故障表示(故障ランプ)が点滅したら、給湯栓を閉めてください。
- (4) 上記の動作を繰り返して、お湯が出ることを確認してください。
- 試運転が終わりましたら、すぐご使用になる場合はガス栓を閉め、取扱説明書に従って必ず水抜きを行ってください。

●この機器は常時約10Wの電力を消費しますので、すぐご使用になる場合は、必ず電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

※凍結予防の水抜き

- 凍水後、配管や機器内に残った水は、お客様が使用されるまでの期間放置すると、凍結して機器が破損する恐れがありますので、完全に水を抜きとってください。

●お客様への説明

- 取扱説明書によって、使用法を説明してください。特に「安全上の注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って「保証・サービス」について説明してください。

Rinnai

リモコン

設置工事説明書

本品を指定する機器にご使用ください。

工事される方へ

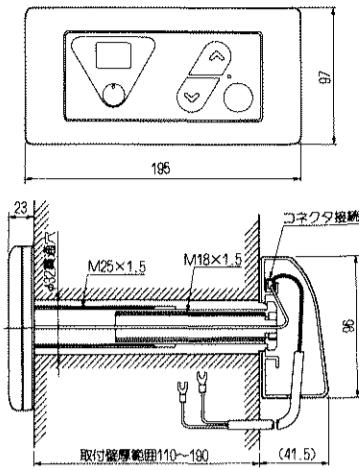
- 機器を正しく安全に使用していただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- MC-37-2のみテレコンローラ(RTL-300システム他)と接続可能です。

名称	型	式
メインリモコン	MC-33-2	MC-37-2
シャワーリモコン	BC-45-2	

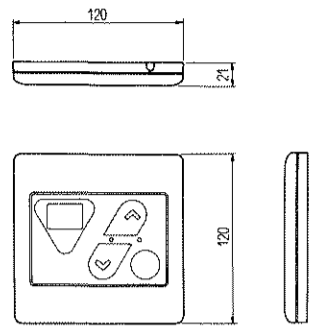
リンナイ株式会社
〒454 名古屋市中央区瑞穂町2番25号
TEL:052-361-8211

- | | |
|---------------|---------------|
| ① リモコン部品一覧 | ⑤ 使用ケーブル線について |
| ② 別売部品 | ⑥ リモコン接続方法 |
| ③ リモコンの取り付け工事 | ⑦ テレコンローラの接続 |
| ④ 機器との接続 | |

シャワーリモコン



メインリモコン



(単位: mm)

注) 上記および本文中のリモコンのイラストは、一例としてBC-45-2、MC-33-2を示したものです。他の型式のリモコンのデザインは、これらのイラストとは異なります。

① リモコン部品一覧

部品名	形状	数量	備考
シャワーリモコン		1	BC-45-2
ステーパイプ 大		1	リモコンパイプ
ステーパイプ 小		1	別売パイプ
取付ナット		1	
壁押えカバー		1	ケーブルクリップ付
壁押えカバーパッキン		1	両面糊型紙付
田木ねじ		2	φ3.8x25
オールプラグ		2	
ケーブルクランプ 3N		5.3	UC-25Cケーブルを単独でクランプするとき使用
ケーブルクランプ 5N		8.4	UC-27Cケーブルを単独でクランプするとき使用
ケーブルクランプ 6N		10.6	UC-25およびUC-27ケーブル2本を一緒にクランプするとき使用
ケーブルクランプ 10N		16.0	UC-27およびUC-27Cケーブル2本を一緒にクランプするとき使用
ご注意事項ラベル		1	表面接着剤付
設置工事説明書		1	本書

部品名	形状	数量	備考
メインリモコン		1	MC-33-2 または MC-37-2
田木ねじ		2	φ4.1x25
オールプラグ		2	
田木ねじ		2	M4x25
ケーブルクランプ 3N (MC-33-2のみ)		5.3	UC-25Cケーブルを単独でクランプするとき使用
ケーブルクランプ 5N (MC-33-2のみ)		8.4	UC-27Cケーブルを単独でクランプするとき使用
ケーブルクランプ 6N		10.6	UC-25およびUC-27Cケーブル2本を一緒にクランプするとき使用
ケーブルクランプ 10N		16.0	UC-27およびUC-27Cケーブル2本を一緒にクランプするとき使用
ご注意事項ラベル		1	表面接着剤付
設置工事説明書		1	本書

*ケーブルクランプは機器側で使用するためのものです。機器の設置工事説明書をお読みください。

② 別売部品

●別売部品は機器の必要に応じて別途お買い求めください。

名称	型式
コネクタ付2芯ケーブル (シャワーリモコン用)	UC-25C-□□ UC-27C-□□ (リモコン側...2Pコネクタ) 機器側...Y型端子
2芯ケーブル (メインリモコン用)	UC-25-□□ UC-27-□□ (リモコン側...Y型端子) 機器側...Y型端子
コネクタセット	UX-2-C (UC-25-50、UC-27-50)をコネクタ付に改造する場合に使用
風呂リモコン 取付壁厚 (mm)	RF-2001 (標準品は風呂リモコン)
壁厚別パイプ	190~285 RF-2002 (モコンに付属) 280~375
テレコンローラ (テレコンで操作する場合に使用)	RTL-300他
テレコンアダプタ (テレコンで操作する場合に使用)	TAW-01他

MC-37-2 へのみ対応

③ リモコンの取り付け工事

- 機器本体からリモコンまでの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事として施工してください。
- 2芯ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)
- 電源プラグが接合している(分電盤の専用スイッチが「切」になっている)ことを確認してください。

〈1〉シャワーリモコンの取り付け

- 浴室内に取り付けます。
- シャワーの水(お湯)や、水しぶきが直接かからない場所を選んでください。

壁貫通式の場合

- 浴室の壁にφ32mmの貫通穴をあけてください。
- シャワーリモコンに、リモコンパイプおよび別売パイプを取り付けてください。
- 壁押えカバーに壁押えカバーパッキンを貼ってください。どちらか一方の糊型紙をはがす。
- シャワーリモコンの2Pコネクタを下図のように通し、コネクタ付2芯ケーブルの2Pコネクタと接続してください。(貫通穴に2Pコネクタを通すときは2Pコネクタについているナイロン袋をはずさずに通してください)

④ 貫通穴にリモコンパイプを挿入し、シャワーリモコンを固定してください。

- 裏面の糊型紙を取ってから取り付けてください。
- 取り付ける壁面に凹凸がある場合は、上側および両横縁をコーキング剤でコーキングしてください。下縁はコーキングしなくてください。

⑤ 別売パイプに壁押えカバーを通し、田木ねじで固定してから取付ナットで締め付けてください。

- 壁押えカバーについている壁押えカバーパッキンのもう一方の糊型紙を取ってから取り付けてください。また、壁押えカバーの取り付け方向は、フタが必ず上に開くようにしてください。

⑥ 2Pコネクタの両端を壁押えカバーのケーブルクリップに引っ掛けてください。

- 防雨のため、かならずフタをきちんと閉めておいてください。

⑦ 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

- 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

⑧ カバーをもと通りに取り付けてください。

- 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

スイッチボックスの場合

- スイッチボックスはJIS C 8336の1個用スイッチボックス(カバー付き)・コンクリート壁用または、1個用スイッチボックス(カバーなし)・木造壁壁用をお使いください。
- スイッチボックスは横向きに施工してください。縦向きでは施工できません。

- シャワーリモコン取り付け壁面よりコネクタ付2芯ケーブルが引出されていることを確認してください。
- シャワーリモコンの2Pコネクタをコネクタ付2芯ケーブルの2Pコネクタに接続してください。
- カバーを取りはずしてください。

- シャワーリモコンを壁面に田木ねじで固定してください。壁(または壁の裏地)がコンクリート、ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(φ6、深さ25mm以上)を2箇所あけ、オールプラグを入れてから、田木ねじで固定してください。

- 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

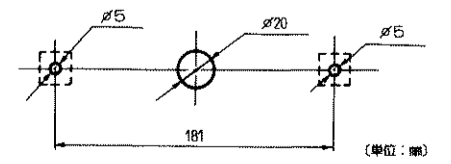
- 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

⑨ スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

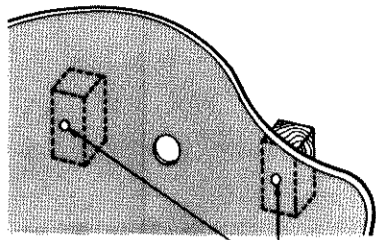
- 田ドライバーなどを使ってカバーを取りはずし、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

ユニットバスの場合

- 取り付ける壁面にケーブル取り出し用の穴1個とシャワーリモコン取り付け用の穴2個をあけてください。

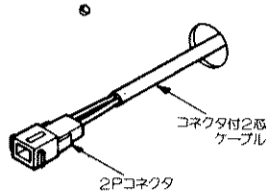


② シャワーリモコン取り付け用穴の外側に補強用の木片を取り付けてください。



木ねじ用の下穴をあけておく

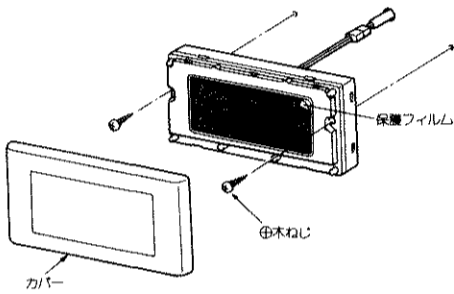
③ ケーブル取り出し用の穴にコネクタ付2芯ケーブルを通してください。



④ シャワーリモコンの2Pコネクタをコネクタ付2芯ケーブルの2Pコネクタに接続してください。

⑤ カバーをドライバーを使用し取りはずしてください。

⑥ シャワーリモコンをユニットバス壁面に木ねじ2本にて固定してください。



注) 裏面の産廃紙を取ってから取り付けてください。

注) 取り付けの壁面に凹凸がある場合は、上側および両横側をコーキング剤でコーキングしてください。下側はコーキングしないください。

⑦ スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをすべてはがしてください。

⑧ カバ ももと通りに取り付けてください。

② メインリモコンの取り付け

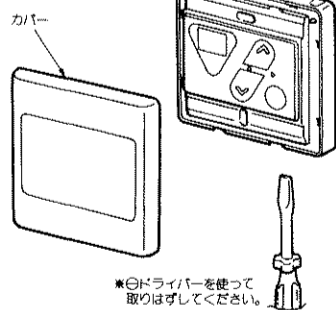
● 下記の場所には取り付けしないでください。

- 湿度の高くなる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湯気のかかるところ
- 水しぶきのかかるところ
- 油のかかるところ
- 浴室には絶対設置しないでください。

● メインリモコン取り付け壁面より2芯ケーブルが引き出されていることを確認してください。(壁内埋込配線の場合)

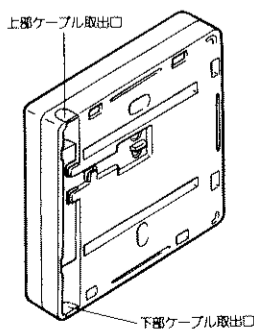
露出配線でメインリモコンを木壁面やコンクリート壁面に取り付ける場合

① カバーを取りはずしてください。



●ドライバーを使って取りはずしてください。

② ケーブル取出口(上部または下部)をラジオペンチなどで割って取ってください。



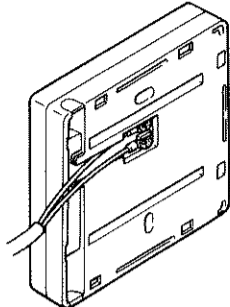
上部ケーブル取出口

下部ケーブル取出口

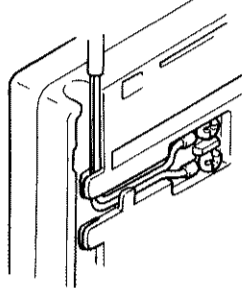
③ 2芯ケーブルの外側の被覆を約90mmむいてください。



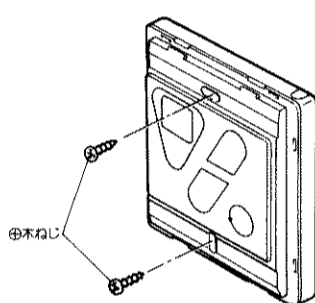
④ 2芯ケーブルのY型端子をメインリモコンの端子に接続してください。



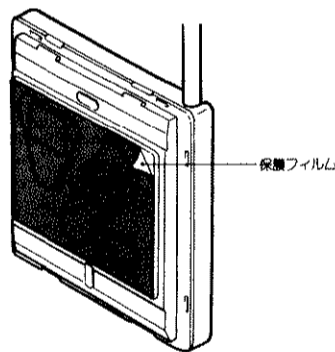
⑤ 2芯ケーブルをケースのツメにひっかけて固定してください。
●以下のイラストは上部ケーブル取出口を使用する場合のもので、下部ケーブル取出口を使用する場合も同様の手順で行ってください。



⑥ メインリモコンを壁面に木ねじにて固定してください。壁または壁の裏側にコンクリート、ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(径φ、深さ25mm以上)を2箇所あけ、オールプラグを入れてから、木ねじにて固定してください。



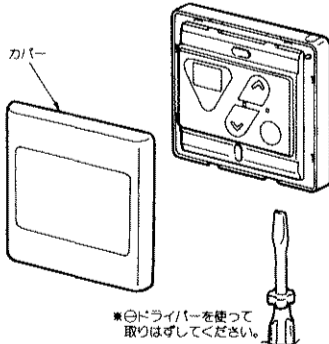
⑦ スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



⑧ カバーをもと通りに取り付けてください。

壁内埋込配線でメインリモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

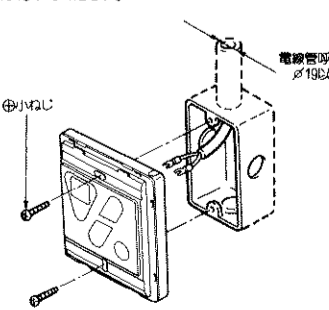
① カバーを取りはずしてください。



●ドライバーを使って取りはずしてください。

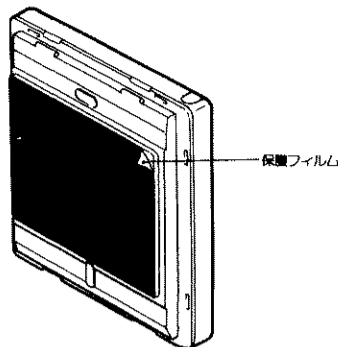
② 2芯ケーブルのY型端子をメインリモコンの端子に接続してください。

③ メインリモコンを木ねじ(M4×25)にて、スイッチボックスに取り付けてください。



●電線管呼びφ19以上

④ スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



⑤ カバーをもと通りに取り付けてください。

④ 機器との接続

● 機器の「設置工事説明書」に従ってください。

● 必ず電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から行ってください。

● 2芯ケーブルが余る場合は機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)

⑤ 使用ケーブル線について

● ケーブルは別売の専用2芯ケーブル(メインリモコンはUC-25-□□またはUC-27-□□、シャワーリモコンはUC-25C-□□またはUC-27C-□□)を使用してください。

● パイプシャフト設置、パイプシャフト扉内設置の場合は必ずUC-27-□□、UC-27C-□□を使用してください。

● 市販のケーブルを使用する場合は、JIS C 3312に合格のVCTまたはJIS C 3306に合格のVCTFを用い、仕上外径9mm以下をご使用ください。

● 芯線の公称断面積が0.5mm²より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。

● ケーブルにY型端子をかシめる際、芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう1本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に動作しないばかりでなく、機器本体の電気ユニットの故障にもつながりますので、芯線のヒゲには十分にご注意ください。

● 仕上外径が細いケーブルを使用する場合は、ケーブルをリモコンまたは本体に固定するとき、ビニールテープなどを巻いて固定してください。

● ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。

● ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。
● メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。

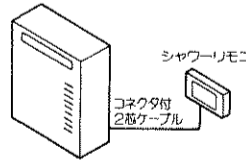
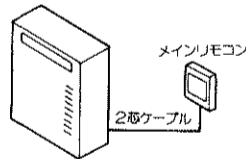
● ケーブル線の総延長が20m以内になるように配線工事を行ってください。

● ケーブル線径と電線管の関係
ケーブル線を電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかしめる前と後とは異なりますので注意してください。
● コネクタ付2芯ケーブルの場合は2Pコネクタがあるため電線管呼びφ25以上をお使いください。
● 2芯ケーブルの場合は電線管呼びφ19以上をお使いください。

⑥ リモコン接続方法

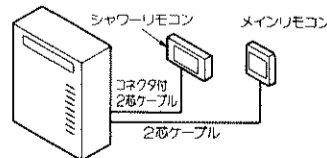
シングル接続の場合

● シャワーリモコンを指定する機器の場合は、メインまたはシャワーリモコンのどちらかを接続してください。



マルチ接続の場合

● 下記の組合わせにて接続してください。



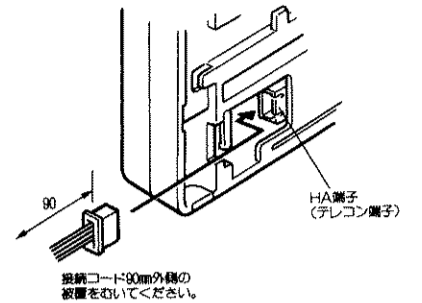
⑦ テレコンローラの接続

● メインリモコンMC-37-2にのみテレコンローラが接続できます。(他のリモコンには接続できません)

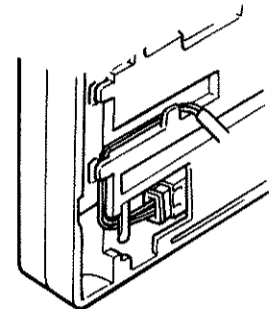
● 詳しい接続方法はテレコンローラ(RTL-300)および接続アダプタ(TAW-01)などの「設置工事説明書」をお読みください。

■MC-37-2への接続方法

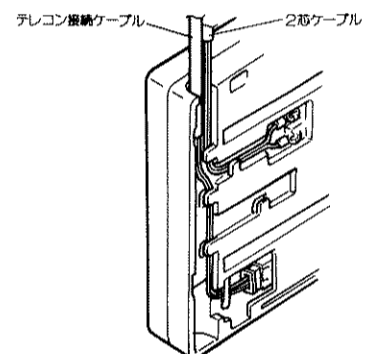
① 接続コード(接続アダプタに付属)の4P端子をMC-37-2のHA端子(テレコン端子)に接続してください。



② テレコン接続ケーブルをケースのツメにひっかけて固定してください。



● 露出配線の場合は下図のように固定してください。上部ケーブル取出口を使用する場合はテレコン接続ケーブルの被覆を120mmむいてください。



● このHA端子(テレコン端子)には、JEM1427に準拠したテレコンローラが接続できます。

リンナイ製	テレコンローラ
東芝製	ホームコントロールシステム
松下電産製	HALS
アイホン製	戸建住宅用HAシステム
ミック・インターナショナル製	マイテム・アーバン
松下電工製	Nais HA

Rinnai®

本体操作部

設置工事説明書

この機器の本体操作部は取りはずして壁面設置することができます。本体操作部を移設する場合にお読みください。

適用機種 RUX-1616WF, RUX-1616WF-E, RUX-1606WF, RUX-1606WF-E, RUXC-1616WF, RUX-1617WF, RUX-1617WF-E, RUX-1607WF, RUX-1607WF-E, RUX-1617WF(G), RUX-1617WF(G)-E, RUX-1607WF(G)-E, RUX-1607WF(G)-E, RUX-1616FFU, RUX-1616FFU-E, RUX-1606FFU, RUX-1606FFU-E, RUX-1616FFUX, RUX-1616FFUX-E, RUX-1606FFUX, RUX-1606FFUX-E, RUX-1616FFUX(G), RUX-1616FFUX(G)-E, RUX-1606FFUX(G), RUX-1606FFUX(G)-E, RUX-2016FFU, RUX-2016FFU-E, RUX-2006FFU, RUX-2006FFU-E, RUX-2016FFUX, RUX-2016FFUX-E, RUX-2006FFUX, RUX-2006FFUX-E, RUX-2016FFUX(G), RUX-2016FFUX(G)-E, RUX-2006FFUX(G), RUX-2006FFUX(G)-E

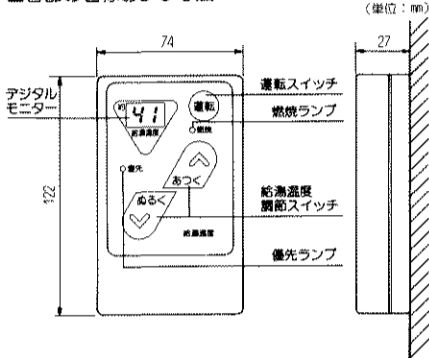
工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。

リンナイ株式会社
〒464 名古屋市中央区稲垣2番26号
☎(052)361-8211

- 1 付属部品
- 2 別売部品
- 3 設置前のご注意
- 4 本体操作部の取りはずし
- 5 本体操作部の取り付け
- 6 機器との接続
- 7 使用ケーブルについて

■各部の名称および寸法



1 付属部品

部品名	形状	数量	備 考
操作部カバー		1	本体操作部を取りはずした後、フロントカバーの穴を塞ぐため取り付け。
④木ねじ φ3.8×32		2	
スールプラグ		2	#8
ケーブルクランプ 3N		1	UC-25ケーブルを単独でクランプするとき使用
④木ねじ M4×25		2	スイッチボックス用
ケーブルブラケット		1	
④タッピンねじ φ4×6		2	ケーブルブラケット取り付け用

2 別売部品

● 別売部品は、機器の必要に応じて別途お買い求めください。

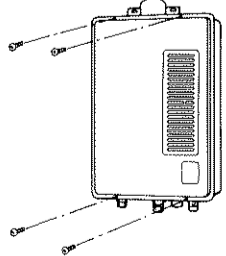
品 名	型 式
2芯ケーブル (メインリモコン・本体操作部用)	UC-25-00 (リモコン側-Y型端子) (機器側-Y型端子)
コネクタ付2芯ケーブル (シャワーリモコン用)	UC-25C-00 (リモコン側-2Pコネクタ) (機器側-Y型端子)
シャワーリモコン	BC-45-1またはBC-45-2
コネクタセット	UX-2-C
シャワーリモコン 壁取タイプ	RF-2001 (標準品はシャワー) RF-2002 (リモコンに付属)

3 設置前のご注意

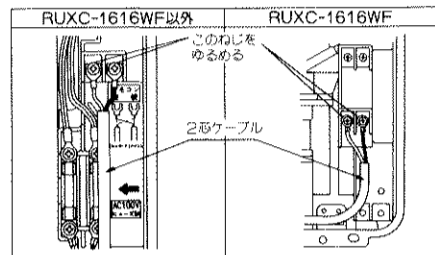
- この機器の本体操作部は別売のメインリモコン(MC-33-1)と全く同じ機能です。
- この機器の本体操作部と別売のメインリモコン(MC-33-1)の両方設置はできません。
- この機器の本体操作部と別売のシャワーリモコン(BC-45-1またはBC-45-2)との両方設置はできません。
- 別売のシャワーリモコンを設置する場合は、シャワーリモコンに付属の設置工事説明書を参照してください。
- 電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが「切」になっている)ことを確認してください。
- 電源を入れたまま配線工事をすると電線が破損されることがあります。

4 本体操作部の取りはずし

- (1) フロントカバーを取りはずしてください。(ねじ4本)

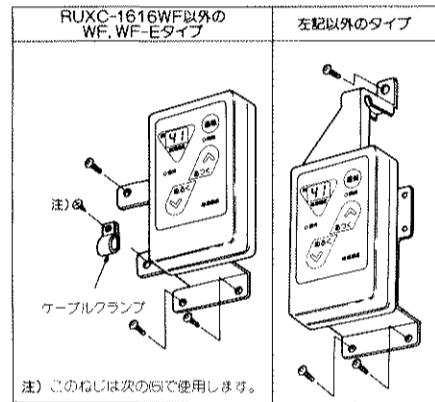


- (2) 電装ユニットのリモコン接続端子から2芯ケーブルをはずしてください。

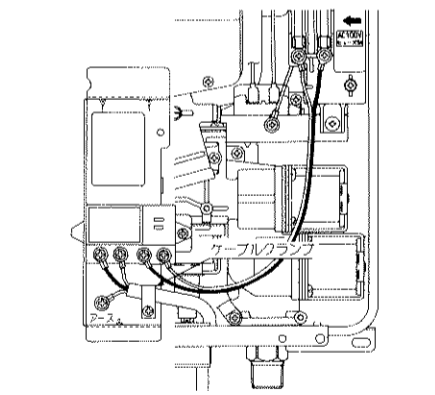


- (3) WF, WF-Eタイプの場合は、ケーブルクランプ(電源コード固定用)をはずしてください。

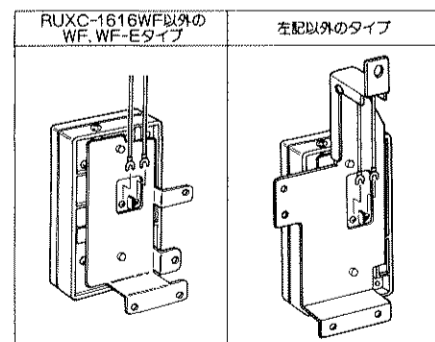
- (4) 本体操作部を機器本体から取りはずしてください。(ねじ3本)



- (5) WF, WF-Eタイプの場合は、本体操作部を取りはずした後電源コードを下図のように余裕をもたせ、ケーブルクランプを付け直してください。

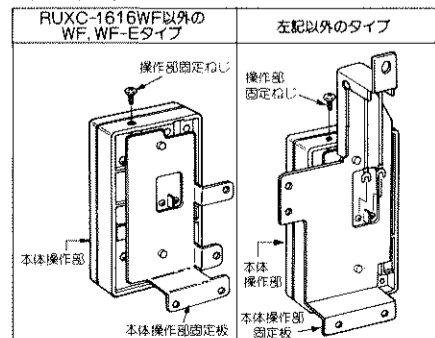


- (6) 2芯ケーブルを本体操作部裏面の端子台からはずしてください。

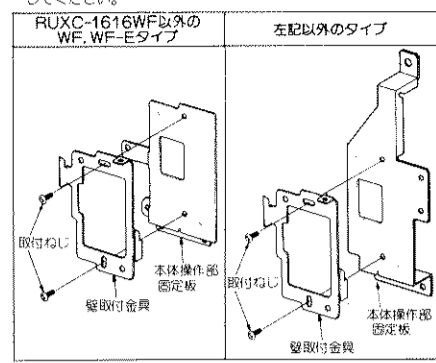


- はずした2芯ケーブルは使用しません。

- (7) 操作部固定ねじ1本をはずして、本体操作部固定板を取りはずしてください。

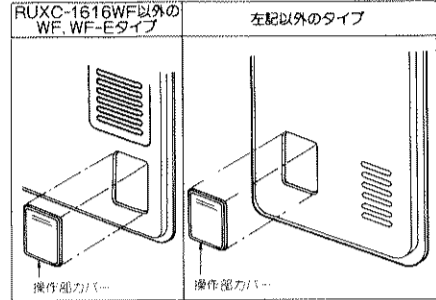


- (8) 取付ねじ2本をはずして壁取付金具と本体操作部固定板を分離してください。



- はずした本体操作部固定板は使用しません。

- (9) フロントカバーの穴に操作部カバーをはめ込んでください。



5 本体操作部の取り付け

- 機器本体から本体操作部までの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。

- 2芯ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)

- 下記の場所には取り付けしないでください。

- 湿度の高くなる場所
- 直射日光のあたる場所
- 蒸気のかかる場所
- 水しぶきのかかる場所
- 油のかかる場所
- 浴室内には絶対設置しないでください。

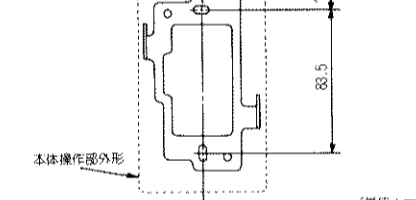
- 本体操作部取り付け壁面より2芯ケーブルが引き出されていることを確認してください。(壁内埋込配線の場合)

6 露出配線で本体操作部を木製面やコンクリート壁面に

取り付ける場合

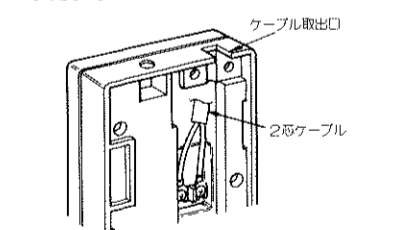
- (1) 壁取付金具を壁面に、④木ねじにて固定してください。

- 壁(または壁の裏面)がコンクリート、ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(φ6、深さ25mm以上)を2箇所あけ、オールプラグを入れてから、④木ねじにて固定してください。

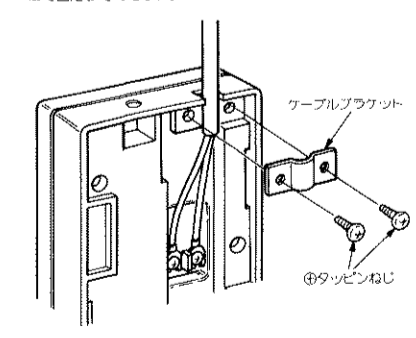


- (2) ケーブル出口(上部または下部)をラジオペンチなどで削り取ってください。

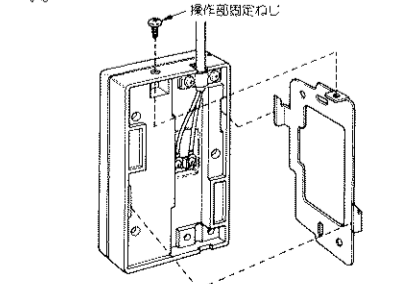
- (3) 2芯ケーブルのY型端子を本体操作部裏面の端子台に接続してください。



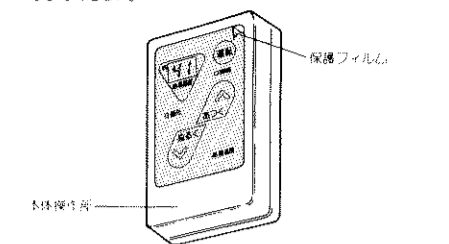
- (4) 2芯ケーブルを付属のケーブルブラケットと④タッピンねじにて固定してください。



- (5) 壁取付金具に本体操作部を操作部固定ねじで固定してください。



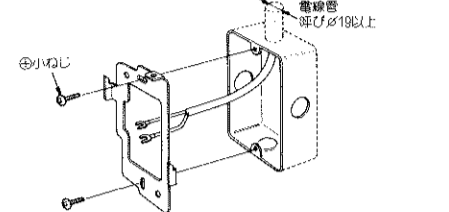
- (6) 本体操作部のスイッチに張ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



7 壁内埋込配線で本体操作部をスイッチボックス表面に

取り付ける場合

- (1) 壁取付金具を付属の④木ねじにて、スイッチボックスに取り付けてください。



- (2) 2芯ケーブルのY型端子を本体操作部裏面の端子台に接続してください。

- (3) 壁取付金具に本体操作部を取り付け、操作部固定ねじで固定してください。

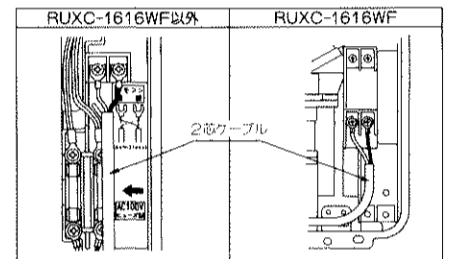
- (4) 本体操作部のスイッチに張ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

8 機器との接続

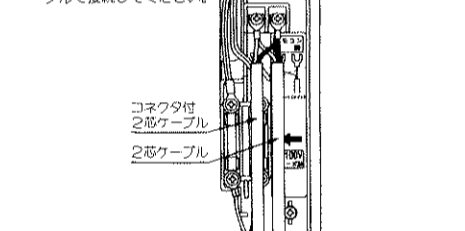
- (1) 機器本体のフロントカバーを取りはずしてください。

- (2) 機器本体底面のケーブル接続口から2芯ケーブルを引き込んでください。

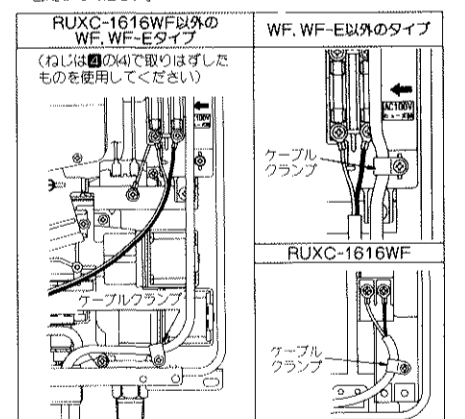
- (3) 電装ユニットのリモコン接続端子に2芯ケーブルを接続してください。(④・⑤の極性はありません)



- RUXC-1616WF以外の機器で本体操作部・シャワーリモコン両方設置の場合は、リモコン接続端子に2芯ケーブル2本をダブルで接続してください。



- (4) 2芯ケーブルを下図のように付属のケーブルクランプ(3N)で固定してください。



- 本体操作部・シャワーリモコン両方設置の場合は、2芯ケーブル2本をシャワーリモコンに付属のケーブルクランプ(6N)で一緒に固定してください。

- (5) フロントカバーをもと通りに取り付けてください。

9 使用ケーブルについて

- ケーブルは別売の専用2芯ケーブル(UC-25-00)を使用してください。
- 市販のケーブルを使われる場合はJIS C 3312に合格のVCTまたはJIS C 3303に合格のVCTFを用い、仕上外径φ以下をご使用ください。
- 芯線の公称断面積が0.5mm²より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ケーブルにY型端子をかしめる際、芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう1本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に動作しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、芯線のヒゲは十分にご注意ください。
- 仕上外径が細いケーブルをお使いになる場合はケーブルをリモコンまたは本体に固定するとき、ビニールテープなどを巻いて固定してください。
- ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。
- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。
- メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないよう十分な距離を確保してください。
- ケーブルの総延長が20m以内になるように配線工事を行ってください。
- ケーブル径と電線管の関係
ケーブルを電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルに押し込む前と後では異なりますので注意してください。
- 2芯ケーブルの場合は電線管呼び径φ19以上をお使いください。
- コネクタ付2芯ケーブルの場合は2Pコネクタがあるため電線管呼び径φ25以上をお使いください。

CU173-806×04(01)